

高等学校における「学びのユニバーサルデザイン」構築事業 事業計画書

実施校：熊本県立（湧心館高等）学校

1 目的及び目標

(授業改善に取り組むことで、どのような学校の姿を目指すのか。その目的が達成を図る指標はどのようなものか。)

【目的】

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善に取り組むことで、全ての生徒が「授業を理解できた。」という充実感を感じるとともに、お互いの多様な考えを認めあい、安心して学べる居心地の良い学級づくりを推進するため。

【目標】

- 1 ユニバーサルデザインの視点から授業をとらえ直し、学習の内容の本質を見極め、内容をフォーカスし、授業構成をシンプルにする。
- 2 これまでの授業の手法を見直し、教科の枠を超えて他教科の手法を参考にし、自らの授業の改善につなげる。
- 3 私語をなくし、授業に集中できる環境づくりに努める。
- 4 生徒がお互いの良さや違いを認め合あえる関係づくりを目指す。

2 内容

- 1 各教科研究授業を行うとともに、特別支援教育課、県立教育センター、スーパーティーチャーから指導・助言をいただく。
- 2 「学びのUD」について、職員へ目的・目標の周知を行うとともに、研修を実施する。
- 3 実施に係る校内組織メンバーと県立教育センターとの連携を図るとともに、本校に有効な授業手法などの情報を提供していただく。
- 4 ICT機器を活用し、視覚的な効果により、授業改善を目指す。
- 5 本校は発達障がい等を含む多様な生徒が在籍していることから、特性についての生徒理解研修を深めるとともに、特別支援教育課、県立教育センター、スーパーティーチャーから対応の仕方等を学ぶ。
- 6 特別支援教育課、県立教育センターから、30名以上の多様な教育的ニーズを持つ集団が個を認め合う和やかな学級づくりの手法を学ぶ。

3 スケジュール

時期	内容	備考
2019年度 (1月～3月) 2月10日 (月) 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びのUD」について、職員へ目的・目標の周知 ・「学びのUD」についての研修 令和2年(2020年) 講師 県立教育センター 星子和広指導主事 ・次年度へ向けた授業づくり・環境づくり・人間関係づくり 授業展開における「湧心館スタンダード」作成 ・次年度の校内組織編成 ・入学する生徒の出身全中学校を回り、生徒の情報を収集 	

2020年度		
4月1日(水)	・「学びのUD」について、職員へ目的・目標の周知	
4月6日(月)	・生徒理解研修(2、3年)	
6月1日(月)	・学校再開 「学びのUD」授業実践	
～		
6月24日(水)	・「学びのUD」職員アンケート実施	
7月6日(月)	・生徒理解研修(1年)	
7月9日(木)	・「学びのUD」職員アンケート分析会	
8月28日(金)	・「学びのUD」についての研修	
	・生徒理解研修(全学年)	
10月6日(火)	・提案授業(物理)スーパーティーチャー等による指導・助言(合評会 職員は全員参加)	
11月9日(月)～20日(金)	・公開・研究授業(全教科)合評会	
11月	・近隣小中学校授業参観	
12月	・「学びのUD」成果検証アンケートの実施	
2月	・事業の振り返り(学びのUDまとめ)	
3月	・成果物のまとめ	

4 実施に係る校内組織(主担当者には名前の左端に◎をつけること)

	校務分掌等	担当教科	氏名
1	教務部	国語	◎前田 信子
2	保健部	生物	古閑 香里
3	教務部	日本史	吉岡 哲郎

※枠は適宜広げてください。

5 連絡担当者

担当者(職名)	教諭 前田 信子
連絡先	TEL : 096-364-4643
	e-mail: maeda-n-xt@mail.bears.ed.jp